



MS303-10001 モーションコントロールビーム

取付・取扱要領書

この度はTRDモーションコントロールビームをお買い上げいただきありがとうございます。
本書には本商品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません、取付けは車両登録後に行ってください。
- 本商品の取付け作業・部品交換は、必ず専門の自動車整備工場で行ってください。
- 本商品の取付け作業・部品交換は、必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	適合	型式	年式	備考
MS303-10001	C-HR	ZYX10/NGX50	'16.12~	

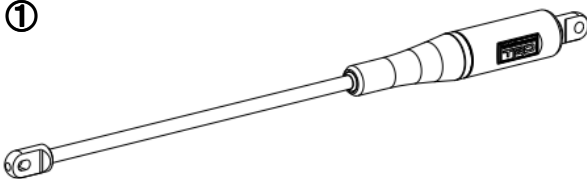
・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。<http://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

	部品名	数量	備考
①	モーションコントロールビーム	2	FR/RR 共用
②	FR ビームブラケット RH	1	
③	FR ビームブラケット LH	1	
④	RR ビームブラケット RH	1	
⑤	RR ビームブラケット LH	1	
⑥	フランジボルト	6	M10 FRブラケット×ボディ&FRダンパ-共用
⑦	ボルト(W/WASHER)	6	M 8 RRブラケット×ボディ用
⑧	フランジナット	2	M10 RRダンパ-用
⑨	取付・取扱要領書(本書)	1	

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

①



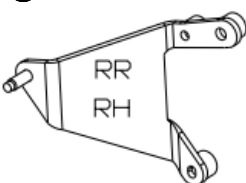
②



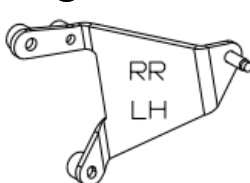
③



④



⑤



⑥



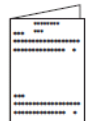
⑦



⑧



⑨



■ 目次

1. 表紙・構成部品.....	1
2. 取付けに必要な工具・保護具・消耗品.....	2
3. 取付け取扱いのご注意.....	2
4. 取付け構成図.....	3
5. TRDモーションコントロールビーム取付け要領.....	3～7
6. 取付け後の確認・点検.....	8






■ 取付けに必要な工具

カッター、エアソー等、トルクレンチ、








■ 取付けに必要な保護具・消耗品

保護メガネ、軍手、保護シート、保護テープ

■ 取付け・取扱い上のご注意

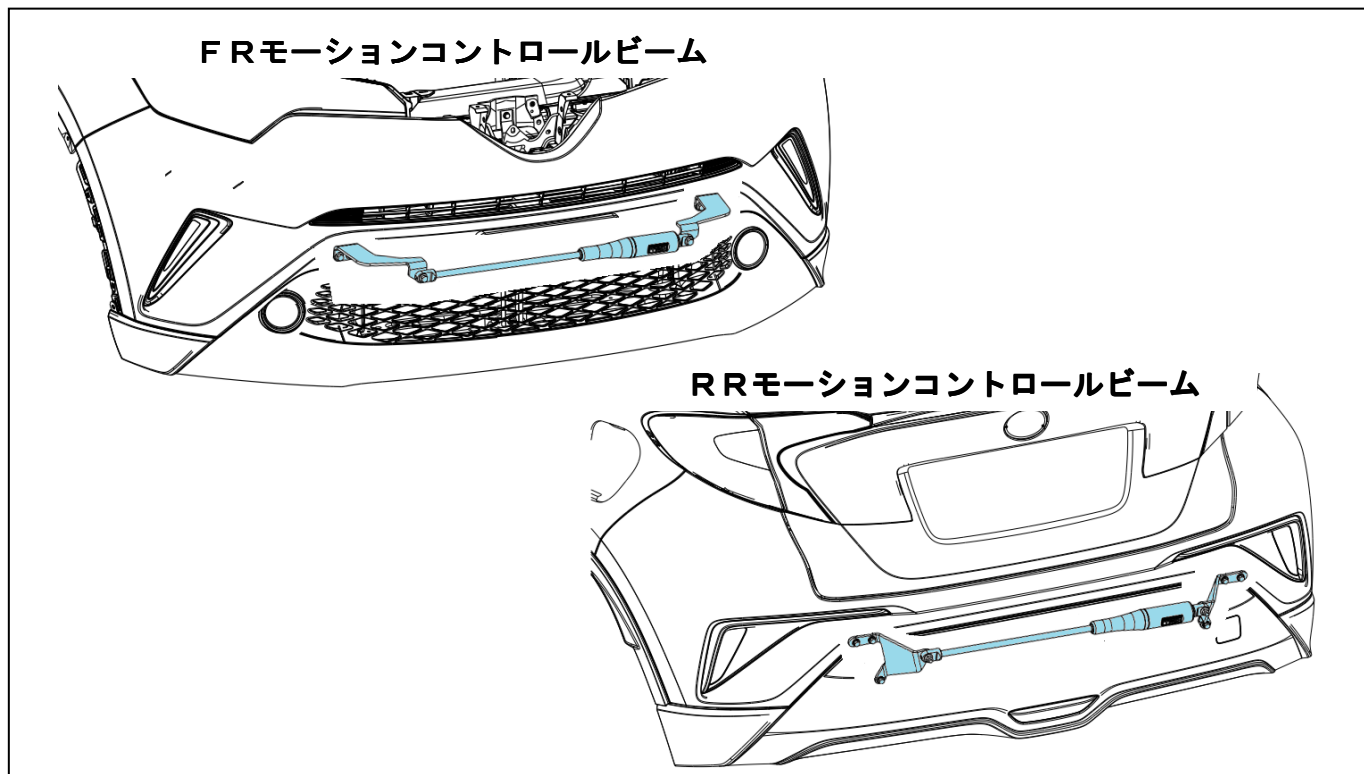
 警告	この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと人が傷害を負ったり、物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。
	してはいけない行為
	必ずおこなっていただくこと

警告

-  本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因になります。
-  取付け作業は、必ずエンジンが冷えていることを確認してください。エンジンルーム、マフラーが熱いとヤケドをする恐れがあります。
-  取付け作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行なってください。車両が予期せず動き、体を挟むなどの重度な事故の原因となります。
-  取付けの際は、指定トルクに従って、取付けボルト・ナット類を締付けてください。取付け時に緩みがあると徐々に緩んで、脱落などにより事故を招くおそれがあります。また締付トルクが過大だとネジが破損する恐れがあります。
-  取付け後、本商品と他の部品との干渉を確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  本商品装着後に、衝突などの強い衝撃を受けた場合は直ちにご使用を中止してください。取付け部分や本体に、変形や破損、故障が生じる場合があります。必ず、自動車整備工場にて点検を受けてください。
-  本商品取付け後、走行中に異常な振動や異音を感じたら直ちに安全な場所に停車してください。そのまま走行を続けると、重大な事故や破損の原因となる場合があります。整備工場にて点検を受けてください。

- 本商品は1年・20,000kmの保証を実施いたします。(1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで)
※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>「保証について」をご覧ください。
- 不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ至急ご連絡をお願いいたします。

■ 取付け構成図



■ TRD モーションコントロールビーム取付け要領

1. FRモーションコントロールビームの取付け準備作業

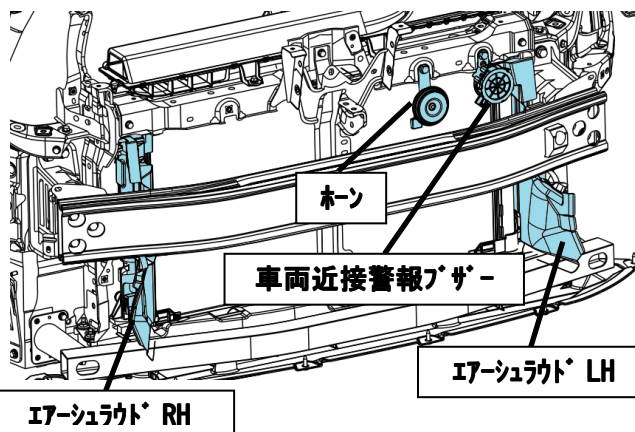
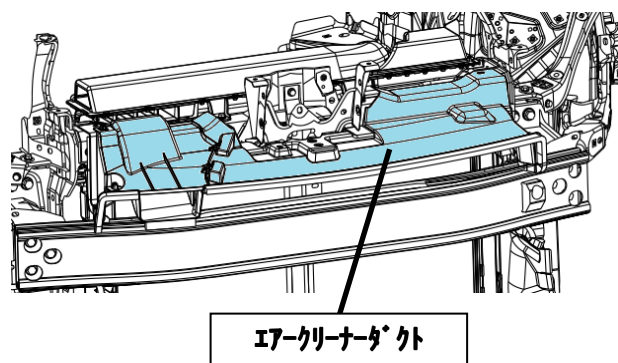
(1) 該当車両の修理書に従い、FRバンパーカバーを取外す。

👉 アドバイス

- ・純正部品の取外しは、該当車両の修理書に従い作業を行ってください。取外した部品（ボルト、クリップ含む）は、再使用しますので、傷つきや紛失がないよう十分に注意して保管してください。
- ・各部品を取外す際は、傷つき防止のため各部を適切に保護シートやテープ等で養生を行ってください。

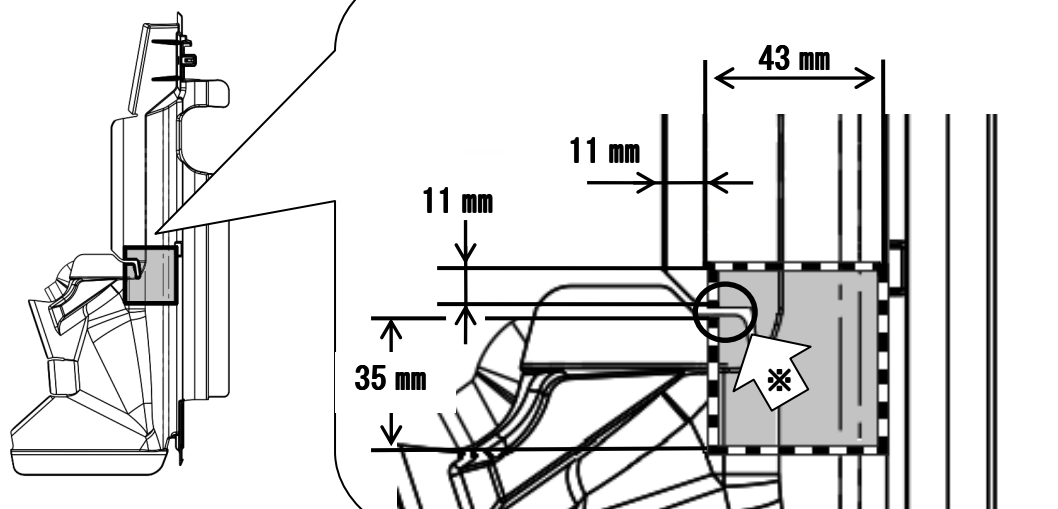
(2) 該当車両の修理書に従い、エアークリーナーダクト・ホーン・車両近接警報ブザー及び、エアーシュラウドRH/LHを取外す。

図1 FRラジエターホース周辺図



(3) 図2を参考にして、取外したエアースラウドRHの切り欠き加工を行う。

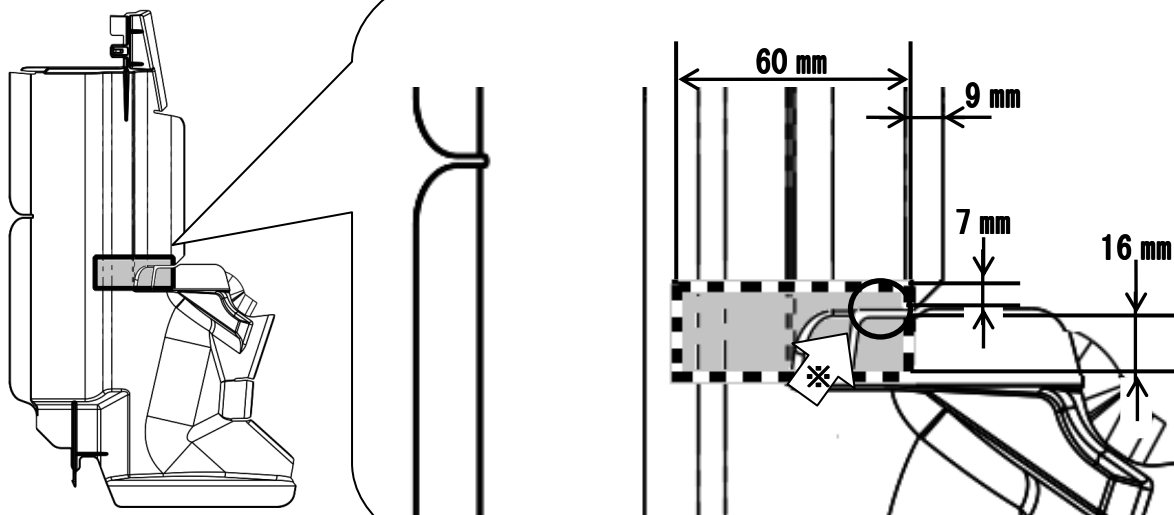
図2 I7-シュラウド RH 側面視図



※I7-シュラウドの切れ込み端末を基準に寸法を計測する

(4) 図3を参考にして、取外したエアースラウドLHの切り欠き加工を行う。

図3 I7-シュラウド LH 側面視図



※I7-シュラウドの切れ込み端末を基準に寸法を計測する

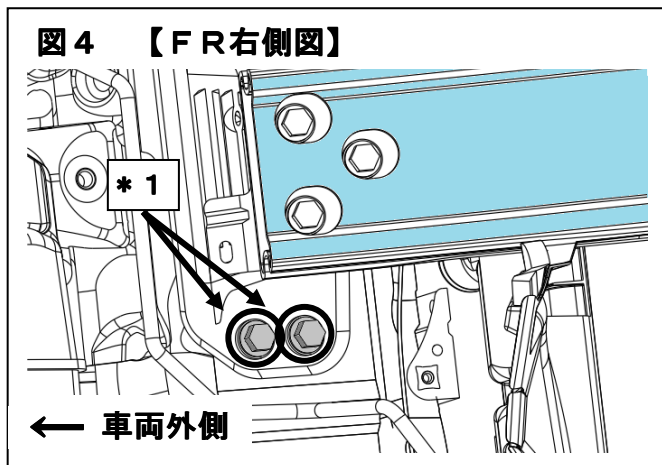
⚠ 注意

切り欠き加工の際は、必ず保護具を着用してください。ケガをする恐れがあります。

(5) 該当車両の修理書に従い、エアースラウドLH/RH・ホーン・車両近接警報ブザー及び、エアークリーナーダクトを車両に取付けて復元する。

2. FRモーショントロールビームの取付け

図4 【FR右側図】

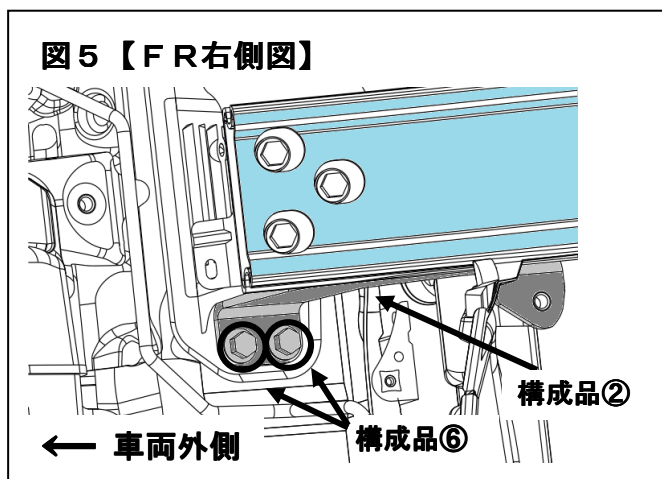


(1) 図4のようにFRラインホースメント取付けボルト(*1) 2本を取外す。

(2) 車両左側も同様に作業する。

取外したFRラインホースメント取付けボルト(*1) は、再使用しません。

図5 【FR右側図】

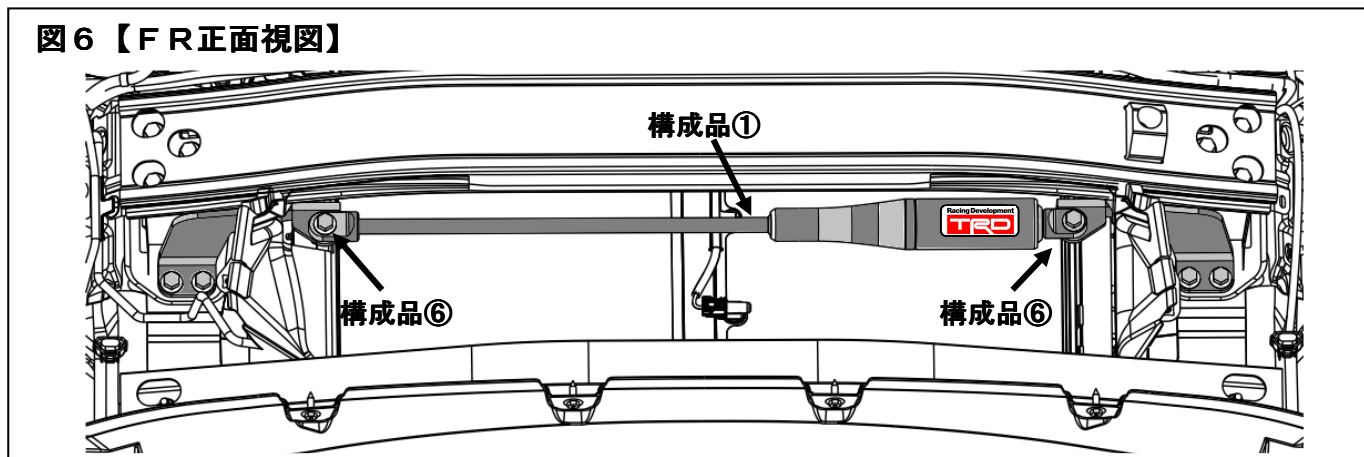


(3) 図5のように構成⑥フランジボルト2本で構成②FRビームブラケットRHを仮締めする。

(4) 車両左側も同様に作業する。

(5) 図6のように、構成①モーショントロールビームをシリンダー部(太い側)が車両左側(助手席側)、TRDロゴが正位置に向くようにFRビームブラケットに組付け、構成⑥フランジボルト2個で仮締めする。

図6 【FR正面视图】

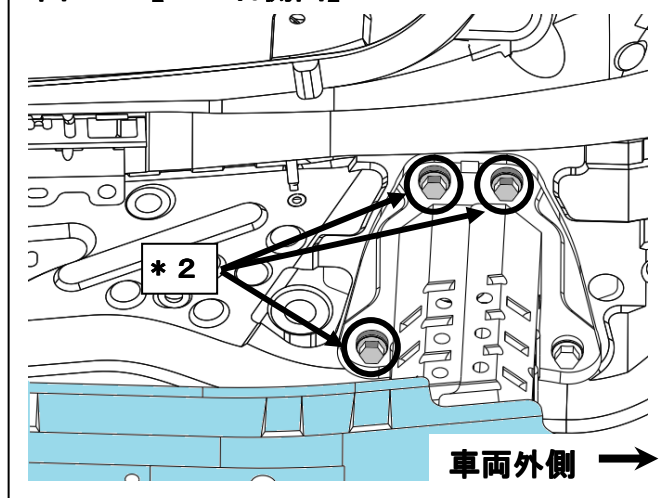


アドバイス

- ・ ブラケット・ビームを取付け後に、ハーネス・パイプ等に干渉がないことを確認してください。
- ・ 各取付けボルトの本締めはRRモーショントロールビーム取付け後に行います。

3. RRモーションコントロールビームの取付け

図7 【RR右側図】

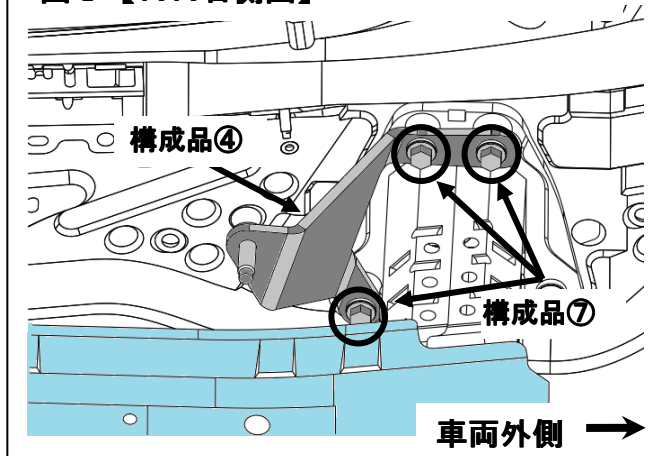


- (1) 該当車両の修理書に従い、RRバンパーカバーを取外す。
- (2) 図7のようにRRリンクホースメント取付けボルト(*2) 3本を取外す。

取外したRRリンクホースメント取付けボルト(*2) は、再使用しません。

- (3) 車両左側も同様に作業する。

図8 【RR右側図】

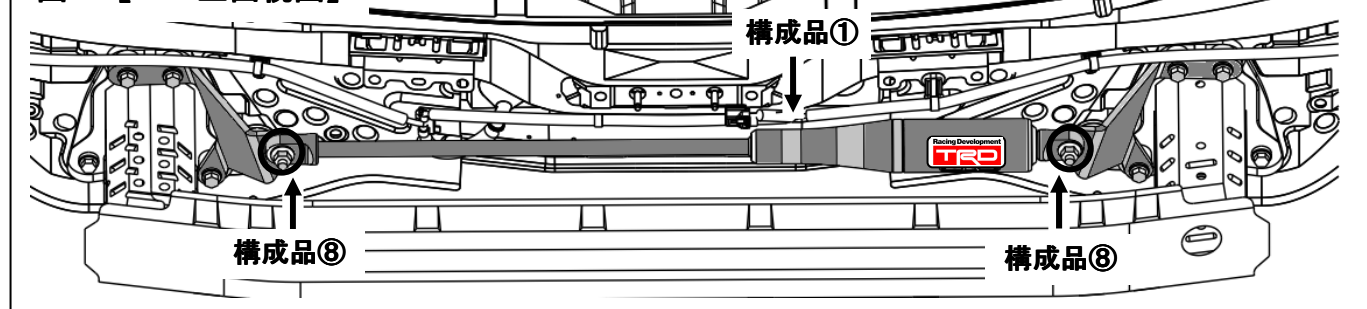


- (4) 図8のように構成部品⑦ボルト(W/WASHER) 3本で構成部品④RRビームブラケットRHを仮締めする。

- (5) 車両左側も同様に作業する。

- (6) 図9のように、構成部品①モーションコントロールビームのシリンダー部(太い側)が車両右側(運転席側)、TRDロゴが車両後方正位置に向くようにRRビームブラケットに組付け、構成部品⑧フランジナット2個で仮締めする。

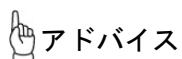
図9 【RR正面視図】



👉 **アドバイス**

- ・ブラケット・ビームを取付け後に、ハーネス・パイプ等に干渉がないことを確認してください。

4. FR/RRモーションコントロールビームの本締め



アドバイス

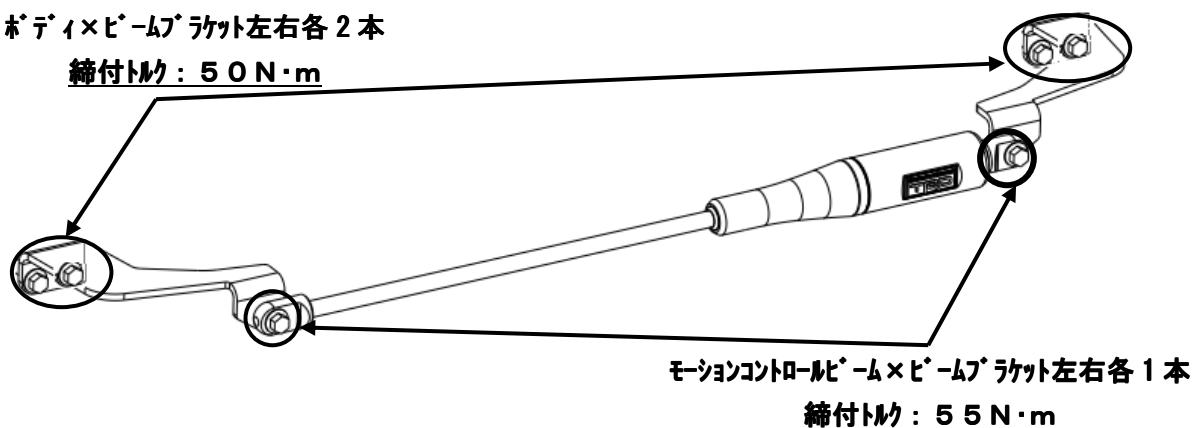
本締め作業を行なう際は、平坦な場所でタイヤが接地し車高が安定した状態で行ってください。

(1) 図10のように、2-(3)(4)(5)で仮締めした構成品⑥フランジボルト6本を本締めする。

図10 【FRモーションコントロールビーム 図】

ボディ×ビームブラケット左右各2本

締付トルク：50N・m



モーションコントロールビーム×ビームブラケット左右各1本

締付トルク：55N・m

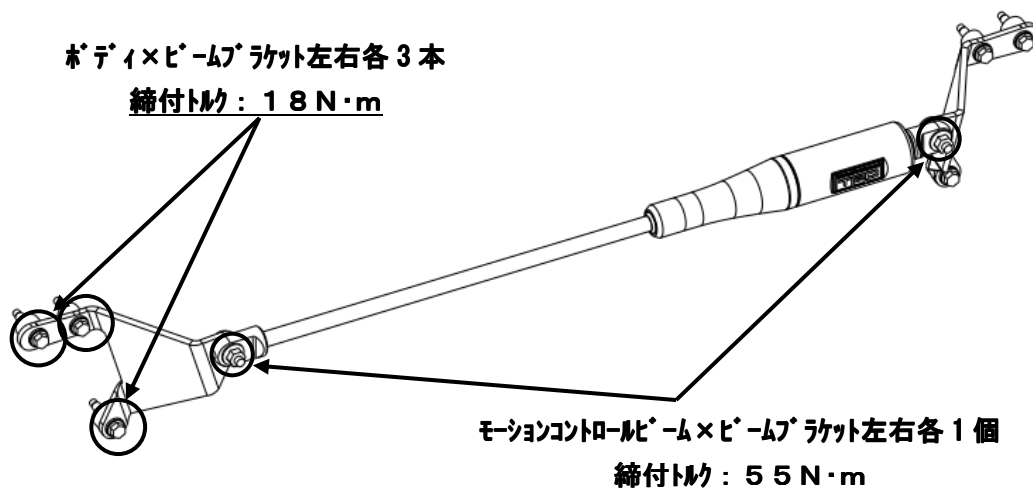
(2) 図11のように、3-(4)(5)で仮締めした構成品⑦ボルト6本を本締めする。

(3) 図11のように、3-(6)で仮締めした構成品⑧フランジナット2本を本締めする。

図11 【RRモーションコントロールビーム 図】

ボディ×ビームブラケット左右各3本

締付トルク：18N・m



モーションコントロールビーム×ビームブラケット左右各1個

締付トルク：55N・m

お願い

- ・ビームブラケット・モーションコントロールビームともに、本締めの際はブラケットを保持しながら作業を行ってください。
- ・モーションコントロールビームのロッド部分を無理に回転させたり収縮させたりしないでください。

(4) 該当車両の修理書に従い、FR/RRバンパーカバーを車両に組付けて復元する。

■ 取付け後の確認・点検

- ・取付け作業により各部の灯火類・センサー等の再設定・調整が必要な場合があります。
該当車両の修理書に従い作業を行ってください。
- ・取付け後、数キロの走行を行い、異音等がないことを確認する。